

しょうおうちょう

勝中央町

相談窓口

総務部元気なまち推進室

〒709-4316 勝田郡勝中央町勝間田201

TEL 0868-38-3111

E-mail soumu@town.shoo.lg.jp
http://www.town.shoo.lg.jp/

市役所・役場までのアクセス

- JR岡山駅からJR津山線経由JR姫新線で約1時間35分「勝間田駅」下車後、徒歩で約10分
- 岡山桃太郎空港から車で約1時間10分
- 大阪から車で約2時間（高速道路利用）



岡山県内で3番目に小さい面積の勝中央町ですが、南部には西日本有数の規模を誇る工業団地や、高速道路のIC、スーパー、コンビニエンスストア、病院もあり光ファイバーも全町に網羅され、生活インフラもしっかり整備。一方で、北部地域は黒豆やブドウ・桃の果樹栽培が盛んな広々とした解放感にあふれた、夏にはホテルも飛び交う自然豊かな農業地帯が広がっています。西隣の津山市中心部や東隣の湯郷温泉を含む美作市中心部までは車で約15分と「便利な田舎生活」が満喫でき、子育て支援制度も充実したまさに「ほどよい田舎」が実感できます。「使用料無料」の3棟のお試し住宅も人気です。



魅力いっぱい!

勝中央町

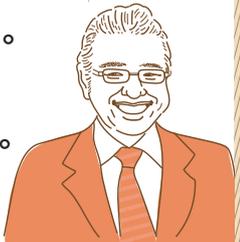
開放感あふれる自然豊かな環境とマチにも近い「便利な田舎生活」が楽しめる、田舎暮らし初心者や子育て世代にはびったりの「ほどよい田舎」。

町内を流れる川にはホテルが飛び交い、視界の広い満天の星空も楽しめる。

黒豆の特産地でもある農業と、上場会社も多く入る内陸型工業団地が共存。

中国自動車道のインターチェンジや高速バス停があり、京阪神まで2時間程度。

勝中央町総務部元気なまち推進室
地域おこし協力隊(移住・交流サポート) 三雲 弘和さん



INFORMATION

子育て環境

高校卒業まで医療費自己負担が無料で、未就学児の親子を対象とした子育て広場や母子クラブの活動も盛んに行われており、学童保育やファミリーサポートセンターも整備されています。また、週末には入園料無料の「おかやまファーマーズ・マーケット ノースヴィレッジ」が親子連れでにぎわっています。

買い物環境

半径5kmに入る町内にスーパー2軒、コンビニエンスストア5軒、ホームセンター1軒、ドラッグストア1軒、直売所1軒と日常生活の不便はありません。津山市内のショッピングモールまで車で20～30分圏内、大型ショップの並ぶ美作市までも車で15～20分です。

医療環境

町内に病院1院、医院3院。岡山県北でも最大級の救命救急センターのある総合病院「津山中央病院」まで車で20～30分です。津山市に隣接しており、産科、小児科、眼科にも不便はありません。

交通環境

町の中央を中国自動車道が横断しており、中国自動車道勝中央ICや高速バス乗り場から京阪神まで2時間程度。岡山空港まで車で70分圏内、関東へも便利。JR勝間田駅、民間バス、町内無料福祉バスもあります。

主な移住・定住支援制度

行政からの支援

子育て支援

- ・高校生まで医療費無料
- ・第3子以降保育料無償
- ・母子くらす、ファミリーサポートセンター
- ・勝中央町中学自転車購入助成

定住住宅関連

- ・「定住促進補助金」改修：最大70万円、購入：最大100万円（諸要件あり）
- ・「移住支援金」（就業・起業）世帯100万円、個人60万円（諸要件あり）
- ・「新築住宅普及促進事業」新築または建売住宅購入20万円

移住促進

利用料「無料」、利用期間3～180日のお試し住宅3棟

DATA

データで見る勝中央町のすがた
(令和5年4月1日現在)



人口
【人口】 10,911人
【世帯数】 4,730世帯
【総面積】 54.05km²



子育て
【保育園】 5園
【小学校】 2校
【中学校】 1校
【高等学校】 1校
【こどもセンター】 1カ所



交通
【路線バス】 4路線
【コミュニティバス】 ふれあいバス



医療
【病院】 1院
【一般診療所】 3院
【うち小児科】 2院
【歯科診療所】 3院



公共施設
【図書館】 1館
【博物館・美術館】 1館
【文化ホール】 1館



- おかやまファーマーズ・マーケット ノースヴィレッジ
- 勝中央町北部運動公園 多目的広場
- 勝中央町緑地運動公園
- 勝中央町武道館
- 勝中央町勤労者体育センター
- 勝中央町こころざしシェアスペース

イベント情報

かつたっ子フェスティバル[2月]、かき祭り[2月]、かたくり祭[4月]、勝間田天神祭[7月]、金時祭[10月]、勝中央町スイーツまつり[不定期]